

令和3年度 総合学習 総括

特進ハウスは学年によって、授業の内容が異なるが、全体的に進路に関連のある内容を取り扱うことが多い。今年度、非常に良かったのは、2年生における、「志望理由書の書き方と面接練習」のテキストである。進学をするための基礎固めをすることができ、有意義であった。

今年度も新型コロナ感染拡大の影響で、グループワークはできなかった。調べ学習も個人での発表になった。個人で資料を作成し、人前で話をすることは大切なことなのでよいが、他人とのコミュニケーションが不足し、他人の気持ちを考える機会が減っている。

来年度からの課題としては、人としっかりかかわれる力をどのようにつけていくかではないか。

特進ハウス 飯田 剛史



令和3年度 総合学習課 1学年ハウス 総括

1学年ハウス 宮越・福田

本年度は、コロナ禍ということもあり、例年のような調べ学習はできなかった。しかし、テキストに基づく学習や調べ学習を通して制限のある中でコミュニケーションを深め、進路など、自己理解を深める活動をできた。なお、今年度よりiPadの購入を行ったため、各教室でWord・PowerPoint・インターネットを活用し、実践的な発表を行うことができた。

課の中での連絡・報告が密に行うことができたため、課員の中で情報共有や意思統一を図れた。

令和4年1月31日

高尾先生

総合探究課2学年

宮本 美波

遠藤 真理奈



総合探究2学年総括

総合探究の授業で2学年は、テキストを中心とした学習活動を行った。特に、夏休み前に配布した、「志望理由書の書き方と面接対策」のテキストを使用する機会が多くあった。2年生は1月以降を3年生の0学期として、進路説明会を行うなど、進路に向けた活動を早くから進めている。夏休み中にも、オープンキャンパスに行くことを勧めるなどしていた。そのような進路に向けた意識付けの際、総合探究の時間を用い、テキストを使用することによって、生徒達も進路について考えるきっかけになったように思われる。また、進路について考えるだけでなく、総合探究の授業の一環である「キャリア学習」につなげていくこともできた。

クラステーマ学習に対しては、2年生は通例として、修学旅行先について調べることも可となっていたため、多くのクラスが修学旅行先について調べ学習を行っていた。しかし、修学旅行が中止となり、クラスによっては1月以降クラステーマ学習を急遽内容変更することもあり、少々時間に余裕がなくなってしまったようだ。また、コロナ禍で思うようにグループワークができず、話し合い等控える状態が続き、個人学習となってしまうクラスがほとんどであった。今後、さらにプレゼンの力や、自らの考えを人に伝える力などが求められてくるようになると思うので、どのようにしたらグループワークや発表などの機会をさらに増やすことができるか考えていかなければならないだろう。

令和3年度 総合探求「総括」 3学年ハウス

担当 相川隼将・高尾克



「前期」は概ね各クラス「進路」についての調べ学習の内容で授業が展開された。

- 表現トレーニングの活用
- 面接指導
- 進路先調査
- 小論文・作文指導
- 自己PR・志望理由指導
- 奨学金について
- 志望理由書・履歴書の書き方指導

「後期」は以下の内容で、各クラスが展開した。

- 学校行事（体育祭出場種目決め・文化祭内容検討）
- 面接指導
- クラステーマ学習の調べ学習
- 小論文指導
- 時事問題についての調べ学習

総括

今年度も、コロナ禍の影響により調べ学習は概ね「個人」で行い、「発表」も多くのクラスが自粛された。

内容は、3年生ということもあり「進路」に関することがメインになった。

総合探求の授業目的は、本校の場合「生きる力を育てる」であるが、3年生は特に卒業後の人生が関わってくるので社会に出てからの適応力（人間関係・仕事の適正など）、人生計画思考、行動力などの基礎能力向上を図りたい。